



親学び

親学び講座



親を学び伝える学習プログラム(通称「親学びプログラム」)を活用し、親の役割や子供とのかかわり方を学びます。

富山県教育委員会では、家庭の教育力の向上を目指し、「親学び講座」の普及・啓発に取り組んでいます。

- ・しつけで悩んでいるんだけど…
- ・最近、子供への声のかけ方が難しい…
- ・子供のことについて、他の親と情報交換がしたい…
- ・子育てのヒントがあれば知りたい。

子育てについて
語り合おう!

よくあるエピソードを題材に、子育ての悩みや問題点を語り合うことで、子供とのかかわり方や親としてのあり方を学びませんか!



親学びプログラム 等

親の学びが
子供の
成長に!



親同士のつながり
ネットワークづくり!

●親学び講座とは

- ・講義形式ではなく、グループで交流しながら学び合う、参加型の学習です。
- ・参加者が子育てを振り返り、話し合う中で、気づきを促すことをねらいとしています。
- ・進行役は、保護者の講座経験者です。

●実施する機会は

PTA研修会、保護者懇談会、就学時健診、入学説明会、子育てサークル、職場の研修会、地域の教養講座 等です。

●参加者からは

- ・子供への接し方の参考になった。
- ・子育ての考え方が広がった。
- ・他の人も同じ悩みをもっていることがわかり、楽になった。
- ・思っていることをたくさん話せてよかった。
- ・いろいろな人と知り合うきっかけになった。

●アンケート結果では

「とてもよかった」「まあまあよかった」と答えた人は全体の **97%!**

■親学び講座の流れ

(1)はじめに

講座内容や進め方について説明

(2)エピソードの読み上げ

ワークシートや紙芝居



(3)グループワーク

①一人一人が考え、ワークシートに記入



②グループ内で意見交換、話し合い



(4)グループごとに発表(全体で共有)



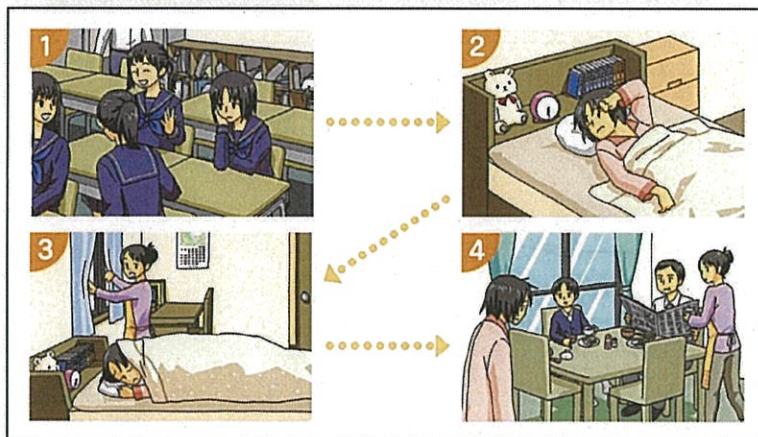
(5)終わりに

活動の振り返り

「親学びプログラム」のエピソード(事例)より

- 親となる準備期** ● ある日の親子の会話から
 - 乳幼児期** ● 忙しいお母さん、話を聞いてほしい太郎君
● ついイライラしてしまうお母さん
 - 児童期** ● 健太郎君とお父さん
● 子ども同士のけんかに親がかかわり
 - 思春期** ● 本当にわかっているの?
● お父さんの出番?!
 - 祖母・シニア** ● 二人のシニアの方の体験から
 - 地域** ● 子育て支援の輪を広げよう!
● など全部で **55** 事例
- ※どのエピソードを使うかは、参加者に応じて選択してください。

▼紙芝居「本当にわかっているの？」



▼ワークシート「忙しいお母さん、話を聞いてほしい太郎君」

子どもと向き合おう!

① 忙しいお母さん、話を聞いてほしい太郎君

母子家庭、シングルで暮らしている。生活費もかかるし、自分の生活も、つい忙し過ぎて気が散ってしまいがち。話を聞いてほしい太郎君。お母さんの生活も、忙し過ぎて気が散ってしまいがち。話を聞いてほしい太郎君。お母さんの生活も、忙し過ぎて気が散ってしまいがち。話を聞いてほしい太郎君。

場面：お母さん、夕食を作っているお母さん。太郎君は帰ってくる前、お母さんの生活の様子を見て、お母さんが忙しそうにしているのを見て、お母さんに話を聞いてほしいとお願いする。

② それぞれの立場に立ったとき、どんなふうに話しますか。ワークシートに書き込んでみましょう。

太郎君の立場から:

お母さんの立場から:

③ それぞれの立場に立ったとき、どんなふうに話しますか。ワークシートに書き込んでみましょう。

太郎君の立場から:

お母さんの立場から:

④ 子どもと向き合っていくためにどうしたらいいと思いますか。ワークシートに書き込んでみましょう。

太郎君の立場から:

お母さんの立場から:

私たち、各中学校区の「とやま親学び推進リーダー」が、PTAや学校と協力して、講座実施のお手伝いをします。



ワークシート等のダウンロード先

県のHP「子育てネッ! とやま」
<http://www.pref.toyama.jp/sections/3009/hp/>



親学び講座 問い合わせ先

富山県教育委員会 生涯学習・文化財室
 〒930-8501 富山市新総曲輪1-7
 TEL 076-444-3435